

卒業生紹介

整体・カイロプラクティック おおしま 療術院

〒960-8204 いわき市錦町竹の花 26-1 0246-62-5022

いわき市錦町に 2009 年 12 月に開院した「おおしま・療術院」の大嶋日出男先生をご紹介します。

私が療術の世界に入るきっかけを作ってくれたのは母でした。私が 21 才の時、母は肺気胸と喘息を患い、10 年間寝たきりになりました。母の膝に水がたまり腫れと痛みで苦しんでいた時、私は「平田式温灸器」を試してみました。7 日間膝の周りを丁寧に温灸すると、好転反応が急にぐったりして虫の息になってしまいました。しかし、7 日後の夜に私が会社から帰宅すると、台所で母が 10 年ぶりに味噌汁を作っていたのです。私は奇跡が起こったと思いました。それから半年の間、母は起きれるようになり、家のありとあらゆる場所を掃除したのですが、その後、急に胃の痛みを訴えて緊急入院し、予感していたかのように、入院先で 7 日目に亡くなってしまいました。

それから間もなくして、長期にわたる介護と仕事の疲れからか、私も激しいめまいに襲われ、病院を何箇所か回るようになりました。顔面蒼白、動悸、頭痛を伴いましたが原因不明。最後は精神科を紹介され、精神安定剤を 2 年間服用しましたが改善せず、地元の鍼灸院を訪ねました。鍼の先生が「くびのこりが原因だから治るよ」と鍼を打った瞬間、あんなに苦しかった首のこりと頭痛がスーッと消えていきました。全て消えたのです。この時の体験から、私は温灸や鍼等の民間療法に深く興味を抱くようになったのです。

暫らくしてから広告で健美整体普及会のことを知り訪ねてみました。最初に体験学習に参加したのですが講座の話は新鮮で、法律の話して、国家資格でなくとも「療術」という整体やカイロプラクティックの民間療法を行うことができるということを知り講座に参加することにしました。平成 11 年に経絡整体を修了し翌年に「正体法」の講習に参加、以降 5 年間、東京本校の研究科にも通いました。その後自宅で開業。最初の患者さんは近くの神社の神主さんの奥様でした。顔の右半分がうっ血で真っ黒になり、右目は真っ赤に充血し、鼻血が止まらないという状態でした。私は緊張して頭の中が真っ白になり、ひたすら経絡整体を基本通りに行いました。症状が少し改善し、二回目からは落ち着いて検査をして正体法で矯正を行い 5 回の通院で完治しました。ある日、夜尿症の中学三年生の男子が母親と来院しました。仙骨に異常な隆起があり、矯正の 3 回目にポコと大きな矯正音と共に隆起が矯正され、それ以来ピタッと夜尿症が治り、二週間後の修学旅行に間に合うことができました。それまで漢方と病院の通院で相当お金を使ったそうですが、数回の施術で改善されるのを通して私自身が療術の素晴らしさを痛感致しました。それから半年後に、その中学生が足首を捻挫して再来しましたが、眉は引き締まり、男らしい自信に満ちた顔になっていました。人生を変えるような仕事をしたのだと思いました。

その後、協会後援で始まったカイロプラクティックセミナーのガンステッド・テクニック講座に参加していますが、完全にマスターするには長い道のりが必要のようです。しかし、理路整然としているカイロ理論で、これまで修得してきた整体実技に対する自分なりの理解が相当整理されました。

昨年、長年勤務した自動車教習所の教官を辞して念願の療術院をオープン致しました。お客様の信頼を得るために、誠心誠意を尽くして、丁寧な施術を心がけていきたいと思っています。

